2014-2015 年度今治ロータリークラブ週報 No.14

## 第 14 回 例 会 報 告（10月9日）

【 出 席 報 告 】

・会員数　５５名　・出席数　３７名　・欠席数　１８名
・当日出席率　６８．７５％　・前々回修正出席率　１００％
＜欠席会員＞原、檜垣(直)、檜垣(俊)、平田、鎌田、冠、木村、小堀、河野、松木、西信、竹田、田中(良)、吉田
〔免除会員〕青野(明)、青野(賢)、檜垣(巧)、宮本
<9/25 欠席補填>(9/26 道後)村上(裕)　(9/29 今治北)矢野　(10/7 今治南)檜垣(賢)、平田、飯、冠、吉良、近藤、桑森、松木、尾越、竹田、田中

**◇幹事報告**・11 月 20 日(木)12 時 30 分より繊維産業技術センター様を訪問。駐車場は敷地内にあります。
・先日ご協力頂きましたパナイ島小学校修復プロジェクト募金は 24,400 円でした。ご協力ありがとうございました。

**◇親睦活動委員会・お誕生日スピーチ・**桑森ひとみ会員：人生太く長く過ごしていきたいです。今治ロータリークラブ会員の皆様にはいつも良いお付き合いをさせていただき感謝しております。今後共宜しくお願いします。

## ロータリー情報委員会アワー

**◆吉良敏彦ロータリー情報委員長：**①日本のロータリークラブでは、「点鐘なくして始まりも終わりもない」といわれる程、点鐘を大切にしている。世界的に見ると点鐘に関して明確な規定はなく、日本は稀なケースのようだが、始まりと終わりの区切りを明確にする意味で点鐘は良い習慣である。②ロータリーに歌はつきものだが、今治ロータリークラブの例会では現在「奉仕の理想」「我等の生業」「4 つのテスト」「それでこそロータリー」の 4 曲を使用。日本では 25 曲、世界では 140 曲もあり、皆で歌う事で親睦を深めるという意味合いが大きい。③SAA は会場の指揮官・監督の意味があり、会長を補佐しながら会の進行を司る重要な役職です。一説には創成期に会員間の白熱した論戦の末に起こったつかみあいを仲裁したとか。呼び方については、和訳に適当なものが無い為英語のままであると推測されます。④ニコニコボックス（スマイルボックス）は、当初例会への遅刻や早退、バッジ忘れ等の罰金を取るペナルティボックスが原点である。日本では独自に発展を遂げているが、アメリカでは既に過去のものとして活用されていない模様。世界では台湾が日本と同じ形です。⑤メークアップは、埋め合わせをするという考え方で、例会を欠席した場合に他のロータリークラブ（どこでも OK）の例会に出席し、欠席の補填が可能になる。他の例会に出席する事で、新しい発見や出会いの機会がある良いシステムです。⑥ロータリーの徽章は、1906 年制定から 20 年かけて現在の形になり、4 つのテストは、日本における会社の理念・社是・社訓に置き換えると理解が深まる。個人としても内面を引き締める意味で、意義深いものである。⑦社会奉仕クラブのインターアクト（12 歳～18 歳）・ローターアクト（18 歳～30 歳）、ロータリー青少年指導者養成プログラムのライラ（14 歳～30 歳）は、若い世代からロータリー活動への理解を浸透できる良い活動です。力を入れる人とそうでない人との差が大きいところが今後の課題です。⑧米山記念奨学会の奨学金制度は東京ロータリークラブ初代会長の米山梅吉さんが自身の提唱で創設されたのではなく、この活動を残そうということで提案創設された基金です。現在までの奨学生は 1 万 6 千人以上で、世界 100 カ国以上に及んでいます。▼これまでロータリークラブは”I serve（個人奉仕)”、ライオンズクラブは”We serve(団体奉仕)”と違いについてよくいわれてきたが、現在ではその活動に差が無くなってきている。ロータリークラブでも、いつの時代にも量か質かという問題に直面しているが、その時に合った変化をしていくことが大切です。健康でなければロータリー活動はできない。何事にも好奇心を持つ事が大切で、会員同士が本音で話すことができる事が重要です。

## 次 回 例 会（10月16日）

【 創立 80 周年記念事業報告 】

＜会員誕生日祝＞　八木　正史氏（10/22）　飯　忠悟氏（10/28）
＜配偶者誕生祝＞　冠　康秀氏（10/17）　吉武　誠治氏（10/29）
＜結婚記念日祝＞　平田　勝豪氏（10/16）　光藤　廣司氏（10/22）　岡田　昌平氏（10/22）
松木　徹夫氏（10/22）

〔 笹 〕